

「**弁**言葉で **護**守る **士**仕事の人」

9月9日(火) 5年生の弁護士出前授業がありました。

最初に本物の「弁護士バッジ」を見せていただき、そこに表されているひまわりと天秤の意味を教えてくださいました。そして、人々の人権を守ることが仕事であることを本物の弁護士さんに教えていただきました。

さて、授業の中盤は「いじめ」について取り上げて、子どもたちと一緒に考えました。いじめを苦に命を絶った子の言葉を読み、その子の心の中を想像しました。コップに見立てた心が、傷つく言動で満たされいく。それが溢れたときに…。内容はとても重たいものですが、それだけに、子どもたちは真剣に受け止め、考えていました。

人々が「安心」して、「自由」に、そして「自信」をもって生活できることが人権であると弁護士の方は言っていました。5年生は、大切なことに触れた授業でした。

